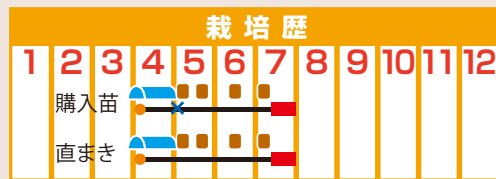




カボチャの育て方

カボチャは生命力が強く、作りやすい野菜です。ミニサイズのの品種を選べば、ツルもコンパクトで場所を取りません。出来た実は冬至まで保存でき重宝します。



●・・・タネまき ×・・・定植 ■・・・収穫
 ■・・・ピニルトンネル ■・・・肥料やり

容器	株数	植え方	一回の肥料
標準プランター	2~3	1条	20g
発泡スチロール箱	1	—	15g
深型菜園プランター	4	2条	40g
ジャンボプランター	4	2条	40g

【肥料】
 定植時、または最終間引き後に元肥、以後20日ごとに3回追肥。

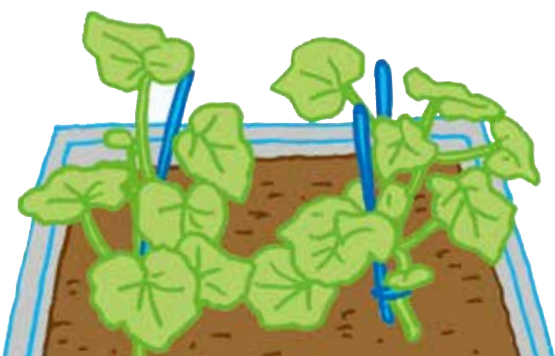
【品種】
 プランターではミニサイズの品種が栽培しやすい(「ほっこり姫」など)。大玉品種も着果数を1株1果にすればよくなる。

育苗



4月上旬、セルトレイで保温育苗します。やや低温でも生長するので、4月上旬に直まきしてピニルトンネルで保温しても良いです。直まきは株間20~30cmに2~3粒ずつ点まき、本葉3枚までに各場所1本に間引きします。発芽し、倒れない様に割り箸等で仮支柱する。

定植



4月下旬~5月上旬、本葉2枚、株20cmで定植します。容器は土量の多い容器が望ましいですが、大きさにあった株数にすればどの容器でもできます。土も標準のもので大丈夫ですが連作は避けて下さい。

整枝

畑では摘心して2、3本仕立て、1株2~3果が標準ですが、プランター栽培では、摘心せずに一本仕立てにし、1株1~2果にするほうが着果も早く、着果するとツルの伸びが自然と止まるので整枝も楽です。肥料もよく吸収するので、IB有機化成の場合、定植して活着したころ、20日おきに3回サイドに施します。

管理

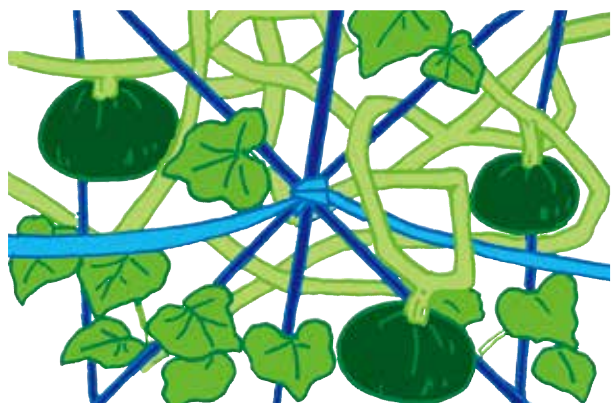


雄花

雌花

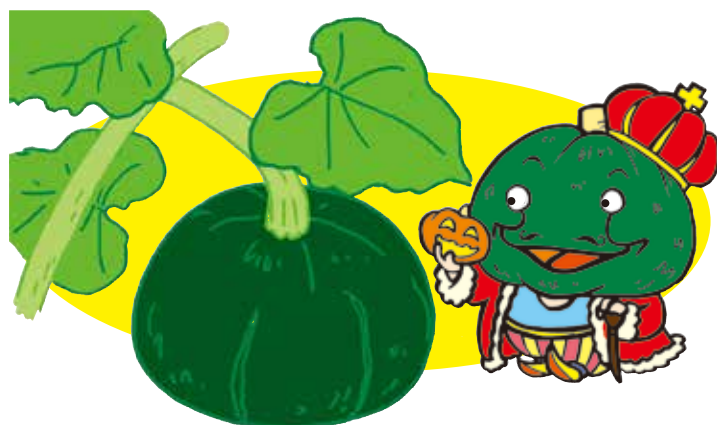
雌花、雄花が別々に咲くので必ず人工授粉を行います。雄花の花粉の寿命は数時間しか無いので、必ず朝10時までにその日ついた雄花の花粉を雌花につけ受粉します。雌花の一番花が雄花より先に咲いて受粉できなかった場合は、二番花に授粉します。

誘引



支柱をたてて親ツルを摘心せずにあんどん型に誘引した盆栽作り。支柱を立てず、プランターの上でツルをぐるぐる”とぐる”をまくようにしても良いです。

収穫



人工受粉後40~45日して、へたの部分がコルク化し完熟したころが収穫の適期です。